



いわいずみ

P2 特集 未来へつなぐ、岩泉の学び舎
～小中学校の統廃合から考える地域の明日～

P6 定例会のあらまし

P10 町の考えを問う
(6 議員が一般質問)

P15 どうなりゃんしたあの提言

シリーズ

キラッと光る人 15

岩泉・田野畑 ROCKS 代表の佐々木大智さん(小川)
実家である不昧庵ふまいあんの僧侶の仕事の傍ら、岩泉町と田野畑村の子ども達にバスケットボールを教えています。地域に愛されるクラブになるよう頑張っています。
※ P16 に関連記事があります。



◀ 岩泉町歴史民俗資料館の公式サイトはこちら



岩泉町歴史民俗資料館に展示されている懐かしい校舎の写真と閉校記念誌

特集

未来へつなぐ岩泉の学び舎 小中学校の統廃合から考える地域の明日

子どもの数は、地域の未来のバロメーターです。本町が誇る豊かな自然と広大な大地は、一方で「通学」や「適正規模の維持」という教育上大きな課題とも向き合い続けてきました。本議会では、今号から全4回にわたり、本町の小中学校が歩んできた統廃合の歴史、現状、そしてこれからの未来の教育環境について、町民の皆さまとともに考える特集を組みました。第1回となる今号では、岩泉町の教育の「現在地」を見つめ直します。

データで見る

「子どもの数」と「学校数」

本町の児童・生徒数は、昭和のピーク時からどのように変化してきたのでしょうか。議会に提出されたデータをもとに、その推移をたどります。

おしえてぴーちゃん

(※) 複式学級とは

児童生徒数が少ない学校などで、2つ以上の学年を1つのクラスにまとめて編成し、同じ教室で授業を行う学級形態のことを言います。



令和8年
(現在)

- ・児童・生徒数 393人
- ・小中学校数(分校含む) 7校
- ・現在の状況 ピーク時のわずか5%程度に。集団教育による社会性の育成と、地域コミュニティ維持が瀬戸際にあります。

平成18年
(平成の大合併期)

- ・児童・生徒数 865人
- ・小中学校数(分校含む) 22校
- ・当時の状況 少子高齢化が顕著になり、複式学級(※)の解消に向けた統合が本格化。

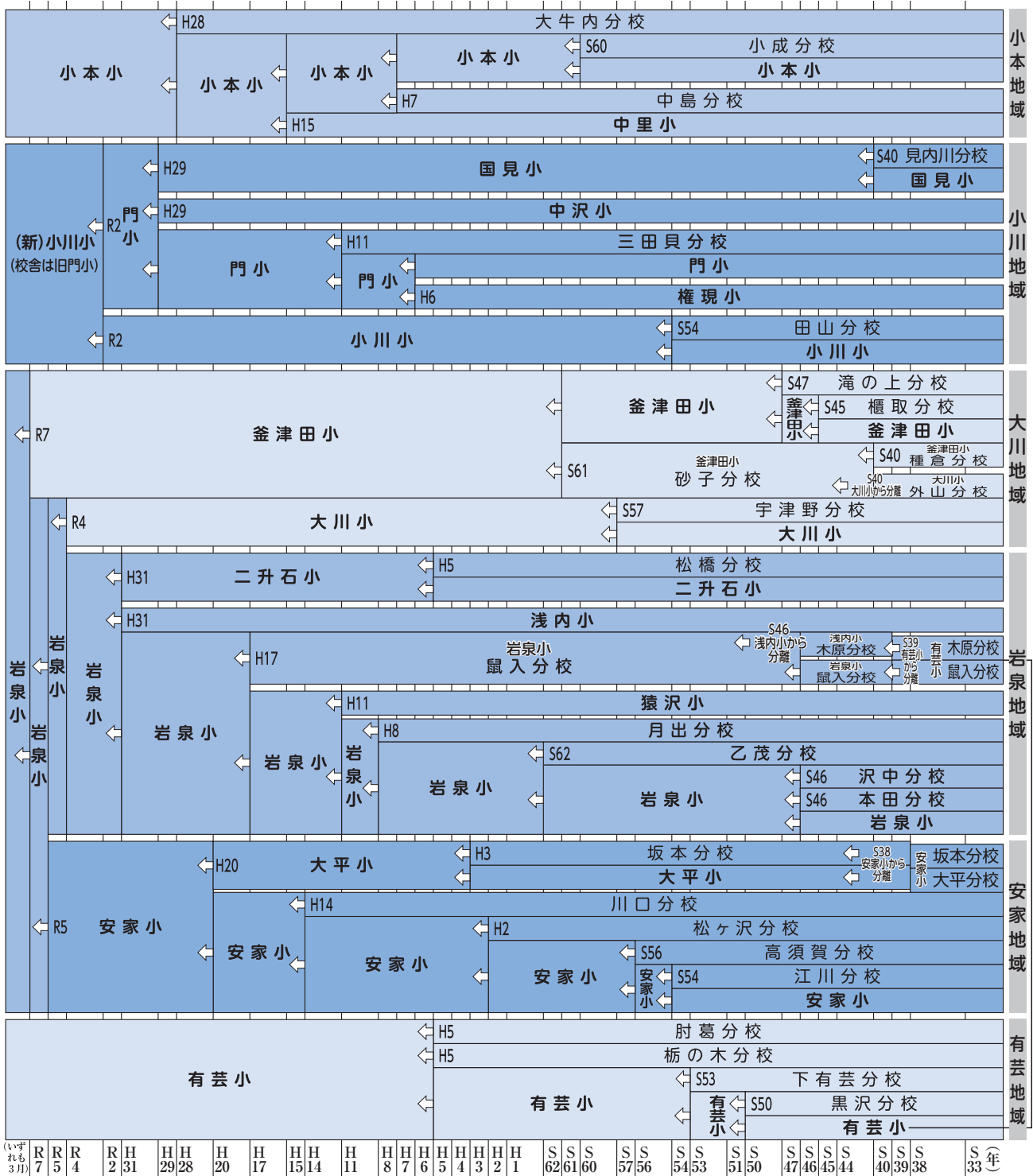
昭和37年
(ピーク時)

- ・児童・生徒数 7200人
- ・小中学校数(分校含む) 62校
- ・当時の状況 どの集落にも子どもたちの声が響き、学校は地域コミュニティの中心的存在でした。

児童・生徒数及び学校数の推移

(昭和・平成・令和)

【岩泉町内小学校の移り変わり】



昭和33年43校→令和8年(4校)

ますの声

加藤恵紀子さん (小本：中里小学校中島分校出身)



当時は50人以上の児童が居た分校は体育館がないため、集会室でぎゅうぎゅう詰め状態だったことを思い出します。

今では建物すらなくなりましたが、防火水槽に役目を変えた15メートル程の小さなプールが、楽しい思い出と共に残っています。

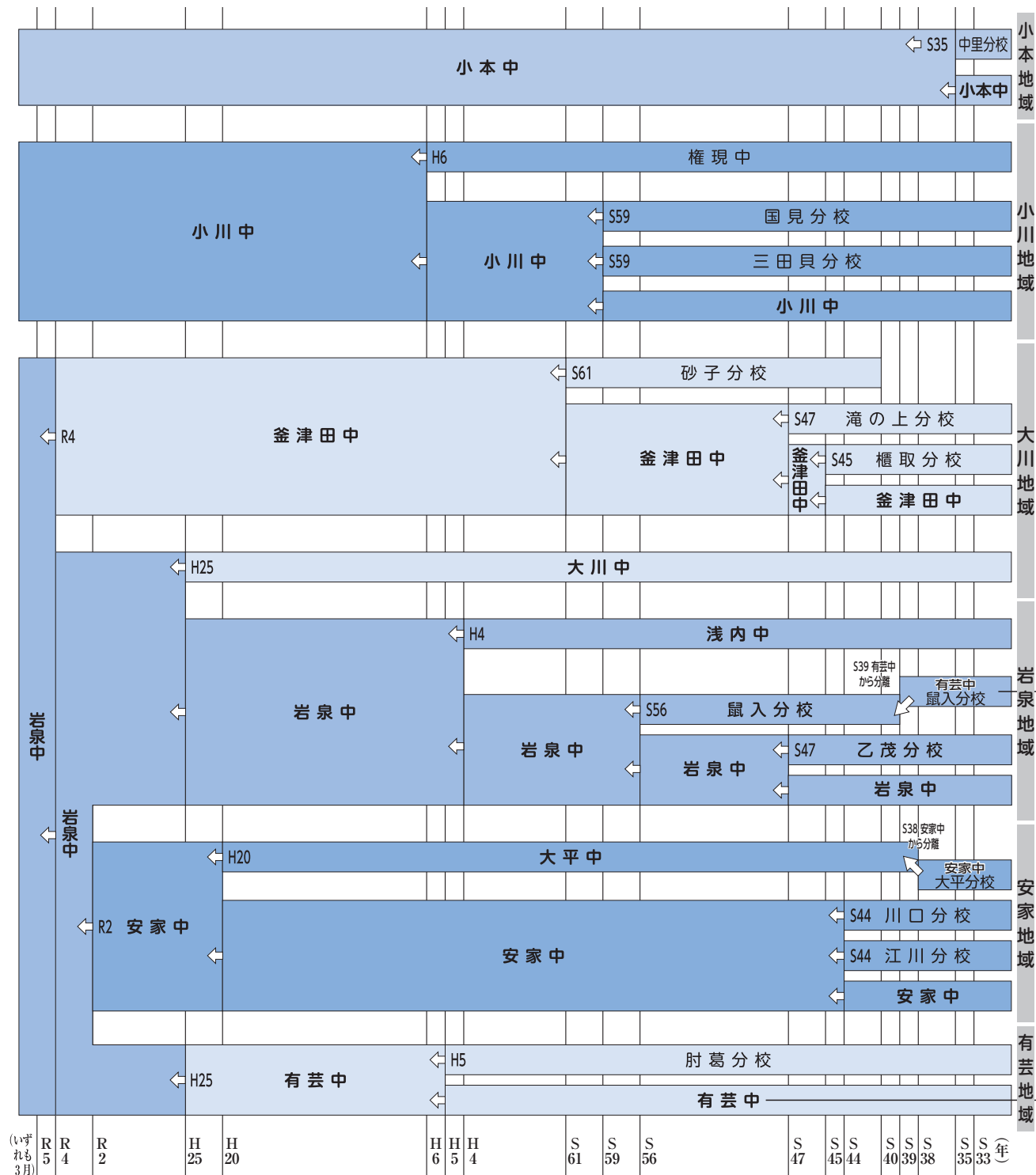
ますの声

加藤 弘輝さん (岩泉：二升石小学校松橋分校出身)



二升石小学校松橋分校に通っていましたが。6年時の児童数は10数人で、みんな兄弟のように一緒に遊んでいたのが懐かしいです。

今では考えられませんが、当時、運動会で足袋をはいて走ったのが良い思い出です。



【岩泉町内中学校の移り変わり】

ますの声

かみひなたそうこ
上日向荘子さん (安家：安家小学校 川口分校出身)



私は安家小学校川口分校、安家中学校で学びました。川口分校三年生の頃は生徒が36人もいたんです。

うちのこども3人は安家小学校に通い、2番目が安家中に進むときに閉校となり岩泉中学校に統合となりました。

今、末っ子が中学3年生です。

親としては、同級生がいるということが楽しそうで、とても嬉しく見えます。

ますの声

おういえ よしまさ
應家 義政さん (岩泉：浅内小学校出身)



学校が地域に無くなるのは、地域活力がなくなる心配があり、寂しかったです。

当時、二升石小学校のPTAとも話し合いをして一緒に岩泉小学校に統合すると決断しました。

最後の学校、児童たちなので、いろんなことに挑戦させようと思い、南部牛追唄全国大会に全校で出場しました。

浅内小学校の5年生4名は、最後の1年間を統合先の岩泉小学校6年生として通い卒業。卒業式終了後は、旧浅内小学校で地域のみんなで卒業式を行い、祝ったのが良い思い出です。

なぜ学校統廃合が必要だったのか？

「地域の灯を消したくない」という住民の強い願いがある中で、なぜ町は統廃合を進めざるを得なかったのか。議会でも議論から、主に3つの理由を挙げます。

①集団の中で育まれる「社会性」の確保

子どもたちが多様な考え方に触れ、切磋琢磨し、運動会や文化祭などの学校行事、部活動や円滑に行うためには、一定以上の集団規模（適正規模）が必要です。同級生が1人、数人という環境では、社会性を育む上で限界があるという懸念が常にありました。

②本州一広い町特有の「維持管理」と「教員配置」

広大な面積の岩泉町において、少数の児童・生徒のために多数

の校舎を維持管理し、全教科の専門教員を配置し続けることは、財政的にも、岩手県全体の教員定数の観点からも、極めて困難な状況にありました。

③教育環境の公平性

ICT教育の導入や、新しく近代的な校舎・体育館での学習環境など、どの地域に生まれた子どもであっても、等しく質の高い教育を受けられるようにするための「選択と集中」が必要でした。

これから1年間で考えていくこと

学校の統廃合は、単に「建物を閉める」話ではありません。それは、これからの岩泉町という地域コミュニティをどう再デザインするかという、町全体の生き残り戦略でもあります。

【第1回（今号）】
導入編 データで見る岩泉町の教育の「現在地」（本号）

【第2回（第216号）】
歴史編 昭和から平成へ、激動の「統合の軌跡」と地域の決断

【第3回（第217号）】
検証編 統合されてどうなった？当事者の思い、スクールバス運行や跡地利活用の現状

【第4回（第218号）】
未来編 10年後の岩泉の子どもたちのために、議会と町がすべきこと

議会からの視点

「学校がなくなる」「地域が消える」にさせないために

学校の閉校を機に、若い世代が地域を離れてしまうのではないかという不安の声は、今

も各地域から根強く議会に届いています。議会の役割は、単に町の統合案を追認することではありません。「通学路の安全は確保されているか」「閉校後の校舎が地域の重荷になっていないか」「学校がなくなっても地域コミュニティを維持する仕組み（地域学校協働活動など）が機能しているか」を住民の皆様の目線で厳しくチェックし、提言していくことです。

次号からは、各地区（岩泉、小川、大川、釜津田、小本、安家、有芸）がたどった具体的な統合の歴史と、そこに込められた当時の住民の皆様の思いを紐解いていきます。

まのすの声

川村 正光さん（小川：権現小中学校出身）



私は、権現で生まれ、権現で育ちました。権現が盛んな頃は、小中学校で80人を超えていました。その当時は、炭焼きの家の子どもが多く、また、運動会では、地区の人達みんなが集まって、出店もあり大変にぎやかでした。

私が中学校を卒業するあたりから少しずつ人が減っていきました。

まのすの声

久保尻星華さん（有芸：有芸小学校出身）



私が小学校4年生の時に有芸中学校が岩泉中学校に統合されました。学年は私1人で、岩泉中学校でみんなに馴染めるか不安でしたが、交流学習やふるさと少年隊などを通じて、不安が解消されたのを記憶しています。

地域の皆さんにとって、学校で子ども達の元気な姿を見られないのは寂しいだろうなと感じています。

快適な運動施設へ ～海洋センター大規模改修工事請負契約を可決～



令和8年度から3か年で改修予定の岩泉町B & G海洋センター。本年度は、武道場などが改修されます。

8年第2回定例会は、6月11日から6月16日までの6日間の会期で開きました。

12日には、一般質問が行われ6人の議員が登壇しました（質問の内容などは10ページから13ページまで）。

任期満了となる農業委員会委員7人の任命に同意。

監査委員の報酬を改定するための条例の一部改正や岩泉町B & G海洋センター（武道場ほか）大規模改修工事請負契約、龍泉洞洞内電気設備等改修工事請負契約など14議案をすべて全会一致で可決しました。

◆栗宿橋橋梁補修工事請負契約

（株）畑中組

5665万円

◆岩泉町B & G海洋センター（武道場ほか）大規模改修（建築）工事請負契約

（株）西倉工務店

9939万6千円

◆龍泉洞洞内電気設備等改修工事請負契約

（株）奥村電気商会岩泉営業所

5717万8千円

◆中型フックロールコンテナ購入

極東開発工業（株）

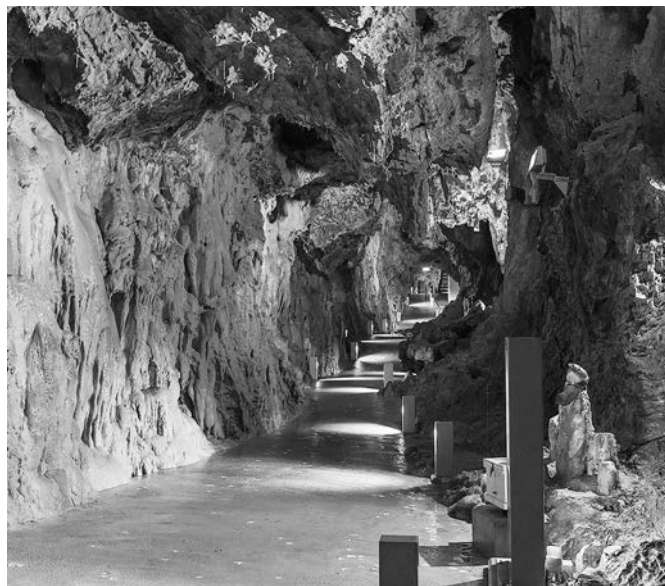
904万2千円



議決された議案の一覧は町のホームページで確認できます



移設される分電盤



照明機器の更新工事が行われる龍泉洞内「月宮殿」

まのすの



下道 久美さん (小川)

洞内照明機器の更新で
お客様の笑顔も明るく

龍泉洞のガイドボランティアを行う際に、お客様から暗くて特に階段が怖かったとお声も聞いていました。洞内が明るくなり、龍泉洞をより隅々まで見ていただける事が出来るのはとても楽しみです。



龍泉洞公式HPは
こちら

**龍泉洞洞内電気設備等
改修工事請負契約を可決**

龍泉洞洞内電気設備等改修工事請負契約が可決されました。

分電盤の改修や地底湖の電源ユニットの移設、照明機器の更新工事が行われるほかに洞内解説映像コンテンツ制作や洞内WiFi環境整備が行われます。

集客力や観光客満足度の向上が図られることや大雨による増水時の被害抑制が期待されます。

農業委員の任命に同意

農業委員の任期が7月19日をもって満了することに伴い、7人の委員を任命することに同意しました。

任期は3年間で、委員は次のとおりです。

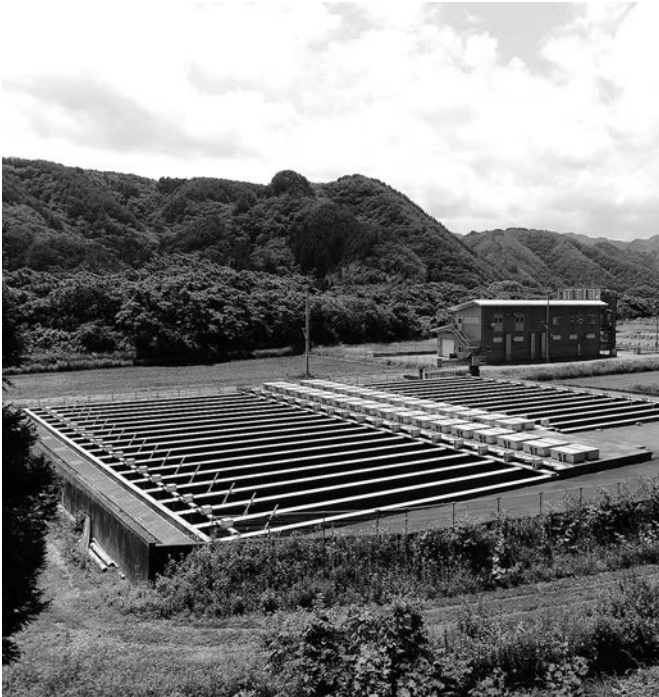
合 砂 哲 夫さん(安 家・70歳)
三 田 地 泰 正さん(岩 泉・76歳)
早 川 ケン子さん(小 川・81歳)
鎌 田 和 美さん(岩 泉・45歳)
畠 山 利 勝さん(釜津田・65歳)
佐々木 知 子さん(岩 泉・62歳)
山 崎 敏さん(小 本・47歳)

監査委員の報酬を改定

監査委員の年額報酬を令和8年度分から引き上げるための条例改正案が提案され、原案どおり可決しました。

監査委員報酬 (年額)		
代表監査	現 行	383,000 円
	改正後	504,000 円
代表監査 以 外	現 行	310,000 円
	改正後	456,000 円

漁業の未来を拓く実証事業スタート



実証事業が行われる旧小本保育園（写真右）とサケ孵化場（写真左）

条例補正予算審査特別委員会（佐藤安美委員長）は6月16日、条例5件、補正予算5件を審査。全ての議案を可決すべきものと決定。同日の本会議において原案どおり可決しました。

審査では、地域力創造アドバイザー活用事業、エビ陸上養殖実証事業、サケ孵化場活用養殖実証事業などの新規事業に対する質疑がありました。ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約しお伝えします。

漁業 実証事業の側面支援は 課題共有しチャレンジ

問 エビ陸上養殖の実証事業の期間は。

答 実証事業の期間は1年間。成果については、報告会で報告する。

問 単年度で見ると赤字が想定されているが、今後の見通しは。

答 実証事業が成功した場合は、別の施設で大規模に取り組む想定でスタートしている。

問 常に前向きな政策をさせていただきたいと考えるが。

答 実証事業を成功させ、海の事業として拡大していく。

まのすの

サケ孵化場活用養殖 千葉 陽子さん
大成功の吉報を心待ち （小本）

日々の散歩コースから望むサケ孵化場。サケに代わる養殖に取り組むと聞き、大成功の吉報を待ちながら散歩も更になんか楽しくなりそうです。

まのすの

思い出の建物の活用 田村 美夏さん
明かりがとる喜び （小本）

小さいころ旧小本保育園に通っていました。静かに残る思い出の建物を通るたびに寂しく眺めていましたが、使い道が変わっても、人が出入りしてあかりがとる事は嬉しいなと思います。

ますの声



千葉 慎也さん (小本)

地域創生のプロの取組
方向性を注目していく

岩泉町には若者中心の様々な青年部、いわゆるミライ会議など岩泉の未来を語れる組織があります。今回のプロジェクトで外部の地域創生のプロがどのようにして岩泉町をまとめて、地域活性化を目指すのかを注目していきたい。

おしえてぴーちゃん

(※) 教育特区

構造改革特区の枠組みを使い、学校教育法などの規制を地域限定で緩和して先進的な教育を試行する区域・制度です。

本町では、本年3月、内閣府から構造改革特別区域計画、通信制高等学校に係る「森と水のシンフォニー岩泉町の自然を活用したまちづくり特区」の認定を受け、令和9年4月から旧大川中学校の校舎を利用した「広域通信制高等学校」を開校する予定として進めています。



地域創生

事業の達成目標は
地域経済活性化へ

問 地域力創造アドバイザー活用事業の詳細な内容は。

答 未来会議、地元事業者、若手農業者を巻き込んだネットワークの構築を図る。空き店舗活用施策として、起業家や中高生とも連携したチャレンジ店舗の企画をしていく。

問 事業費とアドバイザーは？

答 事業費は610万円を3年間、特定非営利活動法人仕事人倶楽部理事長をアドバイザーとして招く。地元事業者、若手農業者をはじめ、関心のある住民へ広くアプローチする。

教育特区(※)

事業主体の経営状況は
国も審査済で問題ない

問 通信制高等学校を株式会社が運営するとのことだが、会社の経営状況は大丈夫か。

答 国の機関も審査しており、運営できると考えている。

問 通信制高等学校と地域の関わりは。

答 地域の営み、生活に触れるような体験を行い、スクーリング以外でも地域に赴き、自分の学びを続けていただくことを想定している。

◆新規事業(抜粋)

事業名 エビ陸上養殖実証事業
事業実施主体 小本浜漁業協同組合

事業の目的

1 事業概要 海洋環境等の変化による漁業生産額の減少が著しい状況を踏まえ、海洋に依存しない陸上養殖により、安定的な生産体制の構築や水産物の経営多角化及び高付加価値に資することを目的としたエビの陸上養殖実証試験に對して支援する。

2 事業の内容

小本浜漁業協同組合が実施するクルマエビとバナメイエビ(各10000尾)の稚エビ投入から収穫、評価までの陸上養殖実証試験に對し補助するもの。

4 3 補助率 9/10
事業費 825万5千円

事業名 サケ孵化場活用養殖実証事業
事業実施主体 小本浜漁業協同組合

事業の目的

1 事業概要 海洋環境等の変化により、小本浜の魚種や漁獲量は大きく変化したし、中でもサケへの影響は大きく、年々漁獲量が減少しサケ孵化場の稼働率が低下していることから、既存の孵化場を活用した新たな漁業の構築に向けた取組に對し支援する。

2 事業の内容

小本浜漁業協同組合が行うサケの孵化及び稚魚育成期間外におけるサケ孵化場を活用したニジマスの稚魚養殖実証試験に對し補助する。

事業実施は、ニジマス養殖等で大学等の研究機関等と共同研究を実施している事業者から、養殖技術、資材等のコンサルティングを受けながら概ね3年を目途に試験を行うもの。

4 3 補助率 1/2
事業費 100万円

事業名 地域力創造アドバイザー活用事業
事業実施主体 岩泉町

事業の目的

「仕事(雇用創出)」を起点とし、地域経済の活性化を図ることで、「安心」「未来」へと波及する持続可能なまちづくりを推進する。

事業の内容

1 事業概要

総務省が登録している地域力創造のための外部専門家(地域力創造アドバイザー)を活用し、特に、若者が地域に残る又は戻ってきて起業等へ挑戦できる環境づくり等を具現化するもの。

2 主な内容

(1) 未来会議(仮称)、若者ワークショップの実施
地元事業者、若手農業者、移住希望者等を巻き込んだネットワークの構築
(2) 空き店舗活用施策
起業家や中高生とも連携した「チャレンジ店舗」企画を行うもの。

4 3 事業費 610万円
外部専門家 特定非営利活動法人仕事人倶楽部理事長



一般質問全文は、町ホームページで公開しています。
スマートフォンはこちらから。

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めることです。
6月定例会では、6人の議員が登壇し、町政課題への提言や質問を行いました。
ここでは、質問と答弁を要約した内容（11ページから13ページ）を登壇順（質問順）にお知らせします。

6人の議員が登壇

一般質問



町の考えを問う

はたけやま まさのり
畠山 昌典 議員（11ページ） ●シンバルスの状況は
* その他の質問 ・移住定住対策について

ほろち てるお
襲地 照夫 議員（11ページ） ●町の活力や賑わい対策は

ちば やすひこ
千葉 泰彦 議員（12ページ） ●組織体制の確立時期は
* その他の質問 ・民意の捉え方の見直しと若い世代へのアプローチ
・「岩泉町に必要なか」を共有する政策判断へ

きくち たかひろ
菊池 孝広 議員（12ページ） ●告知端末電話の継続を
* その他の質問 ・廃校活用について
・水道施設組合への施設維持管理の支援について

はやしぎきょう じ ろう
林崎 亮次郎 議員（13ページ） ●新たな給付金を国に求めよ
* その他の質問 ・地域新電力会社の設立について

はたけやま かずひで
畠山 和英 議員（13ページ） ●一ツ葉高校の誘致内容は
* その他の質問
・人口減少への対応、対策 ・移住・定住の促進、関係人口の拡大策
・移住希望者の確保支援 ・「ふるさと住民登録制度」の運用
・教育行政運営方針 ・地域連携コーディネーター制度等の実施状況
・教育委員会事務局受入の地域おこし協力隊員の活動状況
・キャリア教育の推進 ・岩泉高校いわて留学の実施

傍聴者の声

6月定例会の傍聴者は延べ9人でした。

地域おこし協力隊として釜津田に住み、炭焼きに取り組んでいる平良元太さんに傍聴した感想や議会に対する声を聴きました。

役場庁舎に入ると町民室のテレビに議会の様子が映し出されていたので、せっかくの機会でもあり自分の目と耳で確かめたいと思い傍聴しました。

私自身、地域の未来や事業展開に活かせる「素材」を常に探しています。午後からの傍聴でしたが、皆さんが真摯に向き合っている姿勢が見てとれました。

問題意識など温度差はあるにしても、根本には同じことを言っている場面もありましたから、議員同士も少し意見を擦り合わせているのではないかと感じました。『実際に見る意義はある』議会傍聴だと感じました。今度は最初から傍聴したいと思います。



平良 元太さん
(釜津田)



畠山 昌典議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 シンバルスの状況は

答 おおむね好調な出足

問 「CYMBALS（シンバルス）」は、オープンから1年が経過した。町の財産であるこの施設がどのように活用され、どのような成果を上げているのか。そして、今後の持続可能な運営と本町の地域振興にどう結びつけていくのか、町の認識と展望は。

町長 初年度となる令和7年度の実績は、年間利用者は8000人を超え、総売上額は8200万円であり、目標に対して89%の売上実績となっている。町内への経済波及効果は、総額3500万円程度の経済効果と試算している。

町長 交付実績は合計26件、補助総額は1449万円であった。補助額を手厚くした結果、件数が大きく伸びたものと考えている。空き家に関する相談が増加傾向で、空き家問題の複雑さを改めて認識している。



さらなる飛躍が期待されるシンバルス

問 「岩泉町住まいるづくり事業補助金」の申請件数の実績と現状の課題は。

町長

問 活力や賑わい創出は

答 町民一丸で取り組む

問 現在のかたちの岩泉町が誕生して以来、社会も人も大きく変わってしまうのが当たり前の70年、人口減少のスピードを弱め、かつての活力や賑わいのあった町をどう作り上げるか。

町長 地域振興協議会や町内の各団体の皆様が、人口減少や少子高齢化が進む状況の中、賑わいや活力の創出に懸命に尽力されていることに深く感謝する。かつての賑わいの姿は、一人ひとりが役割を持って地域全体で喜



襲地 照夫議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



大勢の人で賑わう
七頭舞の里おもて鮭まつり

びを分かち合った結果として生まれるもの。この時代においても極めて大切なものと思っている。先人たちが築き上げた町の歴史や暮

らしの知恵を現代のまちづくりに融合させ、感動していただける町になるよう町民一丸となって取り組む。

17文字の
ひとりごと

賑わいも
欠かせないのが
町づくり



千葉 泰彦議員

一般質問・答弁
全文はこちらから

問 組織体制の確立時期は

答 令和9年4月基本方針

問 「地域のあり方検証」の主管部署と横断的連携、今後の役場体制の確立期間は。

町長 当面は政策推進

課が全体統括し全庁体制で取り組む。総合計画が始動する令和9年4月の組織再編を基本としつつ、前倒しで実効性ある体制を構築。



子どもは地域の宝です

17文字の
ひとりごと説明は
行政だけでなく
議会でも

問 行財政改革の令和8年度中の目標設定に向けた推進体制と、事業見直しの進捗は。

町長 5月に事務・事業見直しの職員提案を実施。今後検討チームや推進本部で議論し、町の方針を決定する。

問 子ども未来応援事業は、ばらまきとの批判もある。立案根拠や検討プロセス、効果の評価は。

町長 議会の要望やアンケートでの高い経済的支援ニーズ、物価高騰を踏まえ町独自の支援が必要と判断。次期総合計画で体系化し方向性と評価を明確化。

問 告知端末電話の継続を

答 新たな情報伝達を検討

問 ぴーちゃんねつとが令和9年度末で終了するが、告知端末の電話機能は継続が経過措置を設けるべき。

町長 導入から12年経過。システムの維持自体が困難である。後継情報伝達としてLINEを活用し、スマート



菊池 孝広議員

一般質問・答弁
全文はこちらから17文字の
ひとりごとぴーねつと
慣れたところには

新商品

フォンの活用を含め本年度中に方針を示す。

問 廃校舎を活用し、地域の産業振興と地域の活性化を図るべき。

町長 廃校舎を含めた地域の資源を活用し、持続可能な賑わいを創出するよう地域住民と意見交換しながら前向きに研究する。

問 水道施設組合への施設維持管理の支援をすべき。

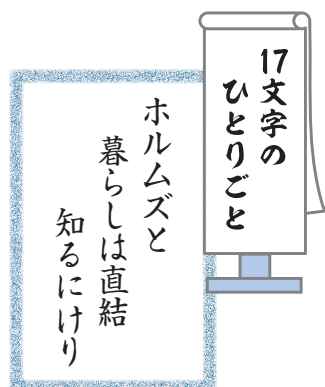
町長 人口減少、高齢化等により、施設の維持管理が年々困難になっていると認識している。各組合の状況を把握し、実情に即した支援のあり方を研究し、対応を考えていく。

ぴーちゃんねつとで近所の人とお互いに
安否確認・情報交換



林崎 竟次郎 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 新たな給付金を国に求めよ

答 国・県へ早急に声を上げる

問 県内では、「部品
の入荷が途絶えて、受
注しても施工できな
い」など、原料価格の
上昇と資材の供給不足
があらゆる分野で発生
している。

**本町各業界は、どの
ような状況なのか。
イラン攻撃で始まっ
た物価高騰はさらに続**

く考える。
新たな給付金の支給
を国に求めるべきだ。

町長 建設業では、塗
料等の納期の遅延、運
送業では、エンジンオ
イルの入手が困難、小
売業では、ビニール袋
など一部調達困難、宿
泊業では燃料費の高
騰、製造業では、潤滑
油が入手困難、きのこ



建設資材の不足が長引くことが
心配されます

産業では、トレーなど
の資材で納品制限。林
業では、原木の入荷制
限により、素材生産者
の売上減。

町としては、国・県
に対し早急に声を上げ
ていく。

今年度は、「家計応
援龍ちゃん商品券」
等を実施。活性化に
つながることを期待
している。

問 一ツ葉高校の誘致内容は

答 地域との交流活動を支援

問 学校統合による廃
校施設・旧大川中学校
に通信制一ツ葉高等学
校が設置される。学校
開設、運営内容は。

問 今回の特区認定計
画では、地域活性化を
目指すことを掲げる。
計画どおりの学校運営
に期待するが、町の見
解は。

町長 本通信制高校の
誘致スケジュールは、
本年10月には廃校施設
を貸し出し、開校は来
年春を目指している。

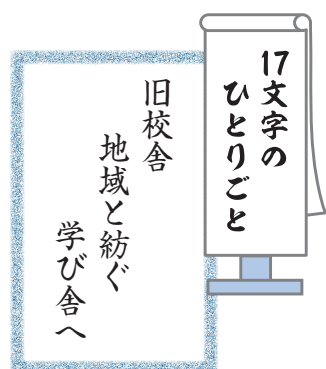
町長 内閣府構造改革
特別区域計画の認定内

教職員は、町内人材
や町外からのウター
ン教職員などを採用す
る。現時点では、現高
等学校勤務職員の配置
転換により、開校当初
の体制を確保したい。



畠山 和英 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



2027年度通信制一ツ葉高等学校が
開校する旧大川中学校校舎全景

容「地域住民や地元高
校生との社会的・文
化的交流を行う」とい
う趣旨に基づき、一ツ
葉高等学校と地域と
の連携交流を具体化
する。町として地元団
体や住民との交流の
場を提供し、地域の特
色を活かした学習や
活動の実現を積極的
に支援していく。

総務・産業

第2回常任委員会を開催 所管事務調査項目を確認

総務常任委員会（千葉泰彦委員長）及び産業常任委員会（畠山和英委員長）は、それぞれ第2回常任委員会を開催し、所管事務調査の項目や進め

方を確認しました。また、今年度、各常任委員会の調査項目とは別に、委員1人1テーマを掲げて取り組むことを確認しました。

◆総務・調査事項

- ・公共交通の現況について
- ・地域のあり方検証について
- ・いわて留学の運用について

◆産業・調査事項

- ・農林水産業の振興策について
- ・観光業・商工業の振興策について
- ・町内の道路整備について

◆各委員の取り組みテーマ

- ・千葉泰彦委員長 上下水道料金事業の赤字幅の削減について
- ・菊池孝広副委員長 医療体制（各診療所の運営状況）について
- ・三田地泰正委員 公共交通の柔軟な運行について
- ・林崎寛次郎委員 再生可能エネルギーの利活用について
- ・小松ひとみ委員 高齢者の生きがいづくり、所得向上策（産直、加工施設の利活用）について
- ・襲地照夫委員 子育て世代の定住促進のための住宅対策について

- ・畠山和英委員長 クマ等野生鳥獣管理対策の強化について
- ・大山幸真副委員長 龍泉洞を起点とした観光振興の強化について
- ・三田地久志委員 既存事業者の所得拡大としての産直、ふるさと納税返礼品の一体的機能強化再構築
- ・合砂丈司委員 国道340号線等県管轄幹線道路整備促進活動の継続強化について
- ・畠山昌典委員 漁業後継者の育成について
- ・佐藤安美委員 畜産・酪農振興、支援対策について



お詫びと訂正

いわいずみ議会だより第214号（令和8年4月21日号）7ページで、記事中の八重樫恭生さんのお名前に誤りがありました。お詫びして訂正します。

誤：泰生さん
正：恭生さん



八重樫龍介議長から
小松則明大槌町議会議長へ

大槌町林野火災へ義援金

6月22日、町議会議員一同は、4月22日に大槌町で発生した大規模な林野火災により甚大な被害を受けた被災者への支援として義援金10万

円を届けました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興を祈念しております。



質疑のその後

どうなりゃんした...

あの提言

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているのか。これまでの質問などから一部を取り上げ、その後どうなったか追跡します。

クマ

クマ捕獲への報償費は 一体的な検討を進める

令和6年1月の
議員と語る会で要望

令和7年第4回
定例会 一般質問

費を支給すべきと考え
るがどうか。

答

クマの捕獲報酬については、適時見直しを行ってきたが、有害捕獲件数の増加に伴い実施隊員の負担も増え、また緊急銃猟実施などの新たな対応に適用する報酬改定も行う必要があることから、一体的な検討を進めていく。

令和8年第2回
定例会〔補正予算〕

問 町ではニホンジカ、イノシシ等の指定管理鳥獣を捕獲するため、町猟友会員を「町鳥獣被害対策実施隊員」に任命し、対応をしている。捕獲した場合には報償費を支給し成果がでている。クマの有害捕獲には報酬が支給されているが、猟期の捕獲やくりわなの捕獲には出していない。増え過ぎた猛獣のクマを削減するため、クマ捕獲への報償

新たに年額報酬1万2千円を実施隊員全員に支給するとともに、岩泉町有害鳥獣捕獲等報奨金交付要綱に定め

ますの声

上野佳寿真さん

(岩泉・鳥獣被害対策実施隊員)

小本クマ班隊員として活動しています。県内でもクマによる人身被害が発生しており、農作物被害とともに、安心安全を守るため活動している実施隊員にとって待遇改善はありがたいです。

る報奨金についても、性質や分類を整理し、作業や出動に伴うものをメニューとして一元的な取り扱いで適性化を図る。

岩泉町有害鳥獣捕獲等報奨金交付要綱に定める報奨金一覧

獣種	内容	金額	単位
ツキノワグマ	捕獲用罟の見回り	2,000 円	1 件 1 日
	捕獲等の従事	10,000 円	1 頭 1 人
	捕獲された罟移動の従事者	12,000 円	1 人
	捕獲された罟移動の従事車両	8,470 円	1 台
カワウ	捕獲等	8,000 円	1 羽
イノシシ	捕獲等	16,000 円	1 頭
ニホンジカ	捕獲等	16,000 円	1 頭
緊急銃猟 ツキノワグマ、イノシシ	実施者（射手）	30,000 円	1 件 1 人
	補助者	20,000 円	1 件 1 人

地域に愛される クラブづくり

表紙によせて

佐々木大智さんは、
2026年4月にバス
ケットボールのクラブ
チーム「岩泉・田野畑
ROCKS」を結成。
岩泉町・田野畑村の子
どもたちが地域を越え
て集まり、バスケット
ボールを通して仲間と
ともに成長するクラブ
を目指しています。
勝敗だけでなく、



岩泉・田野畑
ROCKS の
公式 SNS は
こちらから

一人ひとりの人間的な
成長を大切にし、地域
の未来を担う子どもた
ちの育成を目標にし
て、地域に愛されるク
ラブづくりを続けてい
きたいと意気込みを話
してくれました。



代表の佐々木大智さん（前列中央）と
岩泉・田野畑 ROCKS の子どもたち

議員は何してんのや

議員や議会は何をしているの？という声を聞
きます。ここでは、議会や議員の主な活動状況
をお知らせします。（全日程はQRコードで）



議会の動き

- | | |
|-----|--|
| 4 月 | 10 日 広報広聴常任委員会（役場）
23 日 議会運営委員会（役場）
第2回臨時会（議会議事堂）
27 日 岩泉レクリエーション公園オープニングセレモニー（町内） |
| 5 月 | 11 日 小川地区総合交流センター竣工式（町内）
19 日 町村議会議員研修会（盛岡市）
21 日 国道 340 号宮古岩泉間整備促進期成同盟会総会（宮古市）
22 日 岩泉商工会通常総会（町内）
26 日 全国町村議会議長会議・副議長研修会（東京都）
28 日 国道 455 号・盛岡普代間道路整備
促進期成同盟会通常総会（盛岡市） |
| 6 月 | 4 日 岩泉町観光協会通常総会（町内）
8 日 議会運営委員会（役場）
11 日 第2回定例会（議会議事堂）
広報広聴常任委員会（役場）
12 日 一般質問（議会議事堂）
15 日 議会全員協議会（役場）
16 日 条例補正予算等審査特別委員会（役場）
本会議（議会議事堂）
総務常任委員会（役場）
産業常任委員会（役場）
広報広聴常任委員会（役場）
21 日 岩泉町消防団消防演習（町内） |

議会を傍聴しませんか

次の定例会は、

- | | |
|------------|-----------------|
| 9 月 3 日(木) | 本会議・一般質問 |
| 4 日(金) | 一般質問 |
| 7 日(月) | 条例補正予算審査
本会議 |
| 9 日(水) | 決算審査 |
| 10 日(木) | 決算審査 |
| 11 日(金) | 決算審査・本会議 |

の予定です。

※都合により変更となる場合があります。



どなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴へお越しください

広報広聴常任委員会

委員長	畠山 昌典
副委員長	小松ひとみ
委員	林崎 寛次郎
	菊池 孝広
	豊地 照夫
	幸真
	大山



町HP
議会だより

広報広聴常任委員
豊地 照夫
◇広げて見たら「何かえ
えことあると思います」

◇発行ごとに4〜5回の
編集集議を行います。委
員長の「楽しい編集集議
にしましょう。」を合言
葉に、笑いが絶えない広
報広聴常任委員会です。
◇意外と苦労するのが
「町のこえ」に登場する
方の写真撮影。あの手こ
のりで説得を試みます。
「写真は多少修正できま
すよ」の一言で承諾を頂
いたこともありましたが、
真実を伝える議会だより
であることからご理解く
ださいませ。撮影にご協
力いただいた方々へ改め
てお礼申し上げます。
◇手に取ってもらえる広
報誌を目指し、撮影の後
は「これを機に毎回見て
くださいね」と必ず付け
加えます。

編集後記



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の
再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した
「森の町内会―間伐に寄与した紙―」を使用しています。



いわいずみ

議会だより No. 215

令和8年7月23日発行

発行／岩泉町議会 発行責任者／議長 八重樫龍介

編集／広報広聴常任委員会 印刷／山口北州印刷株式会社

〒027-0595 岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字惣畑59番地5
TEL 0194(22)2111 内線252 FAX 0194(22)5566
https://www.town.iwaisumi.lg.jp/